

日本現代中国学会会員の皆様：

国際シンポジウムのお知らせ

立教大学法学部および科学研究費基盤研究(A)「中国・インド大国化とアジア：内政変動と外交変容の交錯」では、来る1月24日に国際シンポジウム「中国とどう向き合うか？－台頭する中国・パワーシフトと近隣アジアの政治変動－」を開催致します。

詳細は次ページのポスターおよび立教大学ホームページ

(<http://www.rikkyo.ac.jp/events/2015/01/15540/>) をご参照下さい。

多数のご来場をお待ち申し上げます。

【シンポジウム趣旨】

中国の急速な発展により、アジアの国際政治には大きなパワーシフトが生じている。台頭する中国は、既存の秩序や価値観にどのような衝撃を与えているのか、また、それとどのような関係を築こうとしているのか。パワーと価値観の対立・衝突・融合・構成を直接に経験しているのは、大国の狭間にある多くの小さな国や地域である。本シンポジウムでは、中国と米国・インドなどの大国と間にある東アジア・東南アジア・南アジアの国や地域の政治と社会に、中国の台頭がどのような影響と変化をもたらしているのかを、幅広い事例をもとに考える。

日本現代中国学会会員 倉田 徹（立教大学法学部）

立教大学法学部／

科学研究費基盤研究(A)「中国・インド大国化とアジア：内政変動と外交変容の交錯」

国際シンポジウム

中国とどう向き合うか？

— 台頭する中国・パワーシフトと近隣アジアの政治変動 —

10:00-10:10 開会の言葉

10:10-12:10 第一セッション

東アジアのパワーシフトと日韓関係

司会 孫齊庸 (立教大学准教授)

報告 天児慧 (早稲田大学教授)

金興圭 (韓国・亜州大学教授)

レイフ・エリックイーザリ

(韓国・梨花女子大学助教授)

討論 李鍾元 (早稲田大学大学院教授)

林載桓 (青山学院大学准教授)

13:20-15:20 第二セッション

中国の台頭と香港の民主化問題

司会兼報告 倉田徹 (立教大学准教授)

報告 黄偉豪 (香港中文大学副教授)

沈旭暉 (香港中文大学副教授)

討論 高原明生 (東京大学大学院教授)

15:40-17:40 第三セッション

座談会・アジア新秩序の出現か？：

パワー・ポリティクスを超える対話

司会 竹中千春 (立教大学教授)

話題提供 プルネンドラ・ジェイン

(豪・アデレード大学教授)

討論 李鍾元 (早稲田大学大学院教授)

高原明生 (東京大学大学院教授)

根本敬 (上智大学教授)

17:40-17:50 閉会の言葉

2015年1月24日(土)

立教大学池袋キャンパス

太刀川記念館3階多目的ホール

使用言語：日本語・英語 (同時通訳つき)

参加無料 (メールにて参加申込下さい)

主催

立教大学法学部

科学研究費基盤研究(A)

「中国・インド大国化とアジア：
内政変動と外交変容の交錯」

問い合わせ・参加申込

welcomerikkyo2015@gmail.com